

「2020 春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」

街頭行動アピール（案）

私たち連合長崎は、「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」のスローガンのもと、2020 春季生活闘争を粘り強く闘い抜く決意を改めて確認した。

現在、すべての組合は、月例賃金にこだわり、自らのめざす「賃金水準」の獲得にむけて、精力的に交渉を進めている。

一方で、働く者の処遇については、ここ数年、経済成長と労使の協力により、賃上げを実現・継続してきたが、約 20 年間で広がった企業間規模や雇用形態間などの格差はいまだ根本的改善に至っておらず、労働組合によって生み出された成果が中小企業で働く労働者など全ての働く者に波及させることが出来ていない。

このままでは日本の未来が危ない。私たちが目指す「経済の自立的成長」「社会の持続性」を実現するためには、こうした危機感を共有した上で、個人消費による内需拡大とすべての労働者の将来不安の払拭につながる「人への投資」、すなわち「分配構造の転換につながり得る賃上げ」が必要である。

そのためには、健全な労使関係の輪を隅々にまで広げるとともに、働き方も含めた「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていかねばならない。

さらに、働く者の「総合生活改善」のためには、働く者・生活者の立場で政策実現に全力で取り組む必要がある。すべての世代が安心できる社会保障制度の確立など社会保障と税の一体改革をはじめ、重要政策課題は山積している。春季生活闘争と「運動の両輪」である「政策・制度実現の取り組み」を連合長崎推薦議員と連携し、課題解決に向けて総力を挙げた運動を展開する。

連合長崎結成から 30 年を迎えようとしている。私たちはこれまでの春季生活闘争の流れを継承しつつ、将来基盤を築いていくためにも、組織内だけでなく、すべての働く者の処遇改善につながる「みんなの春闘」に果敢に挑戦していく。

「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」を合言葉に構成組織、地域協議会、各労働組合から職場に至るまで、組織の総力を結集し、最後の最後まで、闘い抜くことを宣言する！

2020 年 3 月 6 日

連合長崎「2020 春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」街頭行動